定 例 記 者 懇 談 会 次 第

令和３年４月６日(火)　午後1時15分
牧之原市役所榛原庁舎５階庁議室

１　開　　会

２　幹部・職員紹介

３　市長説明
最近の市政運営について（別紙あり）

牧之原市内荒茶工場激励訪問について……資料１

牧之原市立図書交流館「いこっと」開館式……資料２

牧之原市内の春季イベント（４月、５月）について……資料３

４　その他主な報道提供資料
○山崎善道様　図書寄贈式
○市史料館企画展「般若寺の寺宝展」の開催について
○「文芸まきのはら」第 15 号の発刊について

５　懇　　談

６　閉　　会

次回記者懇談会　４月 22 日（木）　午後１時 15 分～

令和3年度　牧之原市　幹部職名簿

職名	氏名
建設理事（静岡県から派遣）	森西　洋之
企画政策部長	辻村　浩之
政策監	大石　隆
総務部長	大石　光良
危機管理監	粂田　浩之
市民生活部長	山本　喜宣
福祉こども部長	河原﨑　貞行
健康推進部長	鈴木　郁美
産業経済部長	田形　正典
建設部長（国から派遣）	山田　哲士
教育文化部長	内山　卓也
議会事務局長	原口　亨

情報交流課

課長	大石　佳伸
情報交流係長	山田　結城
〃　　総括主任	田中　美紗子
〃　　主任	鈴木　宏洋
〃　　主査	粂田　優

市長説明（別紙）

最近の市政運営について

１　今年の茶況について

２　リニア関連（山梨県笛吹市の工事現場視察）について

３　その他

定例記者懇談会　資料No. 1
令和３年４月６日
産業経済部 お茶振興課
連絡先：0548-53-2621

茶どころ「牧之原市」に新茶の季節到来
荒茶工場を市長が激励訪問

１　概　　要

牧之原市内では今月中旬から露地もの新茶の茶摘みがスタートする。
市長による荒茶工場、茶商店舗への激励訪問は新茶シーズンに合わせて毎年行われていて、今年で１６回目となる。

茶業界を取り巻く状況が年々厳しくなる中、新茶の活発な取引に向けて生産者茶商店舗を激励するとともに、現状を把握し、課題や問題点を直接聞き取ることで、今後の茶業振興に活かしていく。また、「牧之原市のお茶安心安全取組宣言」に基づき、良質で安全・安心なお茶の生産と、農作業事故防止の徹底を呼びかける。

２　体　　制

全荒茶製茶工場 144 工場、市内茶商 25 事業所を４班体制で訪問する。

- □ 杉本市長
- □ 横山副市長
- □ 田形産業経済部長
- □ 田中ＪＡハイナン常務　　※現在割振り中

３　取材対応

赤堀園　（市長が訪問）
住所：牧之原市菅ヶ谷５０２
（日程、詳細が決定次第ご連絡いたします。茶葉の生育による）

４　撮影できる場面

・市長による激励
・荒茶工場の稼働風景
・完成した茶葉と湯呑に淹れたお茶の物撮り
・市長の試飲・インタビュー

５　担　　当

牧之原市茶業振興協議会事務局
（産業経済部　お茶振興課）
電話　0548-53-2621

【参考】広報まきのはら
（平成１８年５月５日号）
お茶安全・安心への取り組み宣言

静岡牧之原茶
産地銘柄の確立に向けて
――日本一の荒茶生産量を誇りに

安全・安心で おいしいお茶を消費者に
お茶安全・安心への取り組みを宣言

近年、食の安全・安心が大きな関心事になっており、消費者に対して、安全な農作物を提供することが求められています。

お茶の生産については、市内の生産農家や製茶工場、農協などが、これまでもトレーサビリティー（生産・流通履歴を追求する仕組み）の徹底や肥料・農薬の使用を規制するなど、安全・安心への取り組みと合わせて、消費者に喜ばれる、おいしくて品質の高いお茶づくりを実践してきました。

これからは消費者が求める農作物の安全性にも応えながら消費拡大を図ろうと、茶業振興協議会を中心に、生産農家、製茶工場、流通業者、指導機関（農協）が一体となって、より強力に安全・安心に取り組むとする宣言を行いました。

今後、宣言に基づき、市内２４０カ所の荒茶工場に、栽培履歴の管理や農薬使用基準の順守などに関する「誓約書」や荒茶のサンプルの提出をお願いしていきます。

記者会見で、安全・安心への取り組みを宣言

お茶安全・安心取り組み宣言

1　牧之原市に所在するすべての製茶工場に、緑茶原料安全誓約書の提出を求め、安全を徹底します。
2　安全性確認のため、製茶工場からサンプルの提出を求め、残留農薬検査を行います。
3　製造現場での異物混入防止対策の強化・環境対策の整備を徹底指導します。
4　牧之原市茶業振興協議会に、専門委員会を設け農業協同組合および市内の肥料・農薬販売会社の協力を求め、ポジティブリスト制度に対応した指導を強化してまいります。

農薬の使用規制を示す ポジティブリスト

「ポジティブリスト」とは農薬の使用規制を示したもので、基準以内での作物への残留は認めていますが、残留基準が設定されていない農薬の残留については、一律基準値を設定し、それを超えた農作物の流通を全面的に禁止するといった対応がとられます。

農家では、農薬の使用についてこれまで以上に注意を払わなければならなくなりますが、そこで心配されるのは、飛散した農薬が残留農薬として検出されてしまうことです。

例えば、茶園とみかん園が隣接していて、みかん園で散布した農薬が飛散してお茶にかかり、残留農薬として検出されるといったケースも考えられます。

農作物全体に関わる問題のため、農業を営むすべての人が連携を取って対応していく必要があります。

定例記者懇談会　資料No.2　令和３年４月６日
教育文化部社会教育課　連絡先：0548-23-7007

「交流・学びの拠点」図書交流館「いこっと」が開館します。

１　概　　要

県内でも前例のない、民間施設と境目のない施設構造であり、交流・談話エリアを備えるなど、気軽に訪れることができ、さらに、若者から年配者まで誰もが、居心地の良さを感じられる造りになっており、本を核とした知と交流の拠点を目指しています。また、開館準備作業に多くのボランティアの方々や中学校生などのべ500人の方々がボランティアとして取り組んでくれるなど、市民の期待の高さが伺われます。

２　開　館　式

(1)期　　日　令和３年４月17日（土）午前９時15分から午前10時00分まで

(2)会　　場　ミルキーウェイスクエア内　図書交流館「いこっと」

牧之原市波津3-11　電話0548-23-7007

(3)出 席 者　（来賓）衆議院議員、県議会議員、愛称命名者　他

（市)市長、市議会議員、教育委員や区長会代表、開館準備ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ　他

(4)式典概要　市長挨拶、施設概要説明、感謝状贈呈など（式典終了後テープカット）

３　フロアガイド（一部抜粋）

・４万冊の蔵書可能で現在の蔵書数は約３万冊。床面積は815㎡、座席数は80席

・交流・談話エリア：広々とした空間で、さまざまな人たちと自由に交流できます。

・児童コーナー：たくさんの絵本があり、わくわくする空間になっています。

・学習室：静かに集中して読書や勉強することができます。

利用案内

図書交流館はだれでも自由に
利用できる施設です。
本などをかりるときは、
利用者カードが必要です。

●利用者カードをつくるには
対象者は市内外の誰でもつくることができます。

●手続きには
住所、氏名の確認できるもの
（免許証・保険証・マイナンバーカード・学生証など）と
申込用紙に記入の上、受付にご提示ください。

●貸出冊数
7点まで（但し市内他館での利用と合わせた合計となります）

●貸出期間
14日間

●返却するときには
カウンターまでお持ちください
榛原図書館に返却することも可能です
図書交流館が閉館している時間はブックポストに
返却できます。
（当施設入口横又は榛原文化センター入口横）

●レファレンスサービス
調べもの、探しもののお手伝いをします。
気軽に受付へお声かけください。

●設備
収蔵能力：最大4万冊　総席数：80席　フリーWi-Fi 有

開館時間
火～金　午前10時～午後7時
土・日・祝　午前10時～午後6時

休館日
毎週月曜日
祝日の翌日（祝日が続く場合は最後の祝日の翌日）
館内整理日（第3金曜日）
蔵書点検期間
年末年始

お問合せ

電話 0548-23-7007　FAX 0548-23-7008
Mail tosyo@city.makinohara.shizuoka.jp
URL lib.city.makinohara.shizuoka.jp

〒421-0523 牧之原市波津3-11
ミルキーウェイスクエア内
図書交流館

アクセス
車　国道473号　大沢IC下車300m
国道150号波津交差点北へ1200m

バス　大沢公園下車徒歩1分
（特急静岡相良線・藤枝相良線・萩間線）

まちの交差点

図書交流館
いこっと

MAKINOHARA

フロア ガイド

キッズワンダーコーナー

知識絵本や理科系の読み物を集めた、新たな発見や驚きのあるコーナーです。

児童エリア

図書検索機

ティーンズコーナー

主に小学校高学年から高校生に読んでもらいたい本や役に立つ本のコーナーです。

読み聞かせコーナー

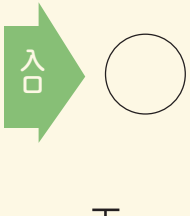
靴を脱いで、ゆったりと絵本の読み聞かせができるコーナーです。

学習室（23席）

個別のブースに仕切られており、静かに集中して読書や勉強をすることができます。

交流・談話エリア

訪れる人同士の交流や、持ち込みの飲み物を楽しむことができるエリアです。



テーマコーナー

身近なテーマに関する本を幅広い分野から集めました。

パソコン席（7席）

インターネット検索のできるパソコン席の他、ご自身のノートパソコン等を持ち込んで利用できる席があります。

郷土・おちゃコーナー

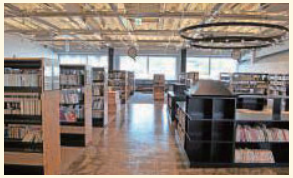
牧之原のことが書かれた本や代表的な産業であるお茶に関する資料があります。

受付カウンター

本の貸出、返却ができます。また、利用者カードの登録や調べもの等、資料に関する相談を受け付けます。

セルフ除菌機・セルフ貸出機

資料・情報エリア

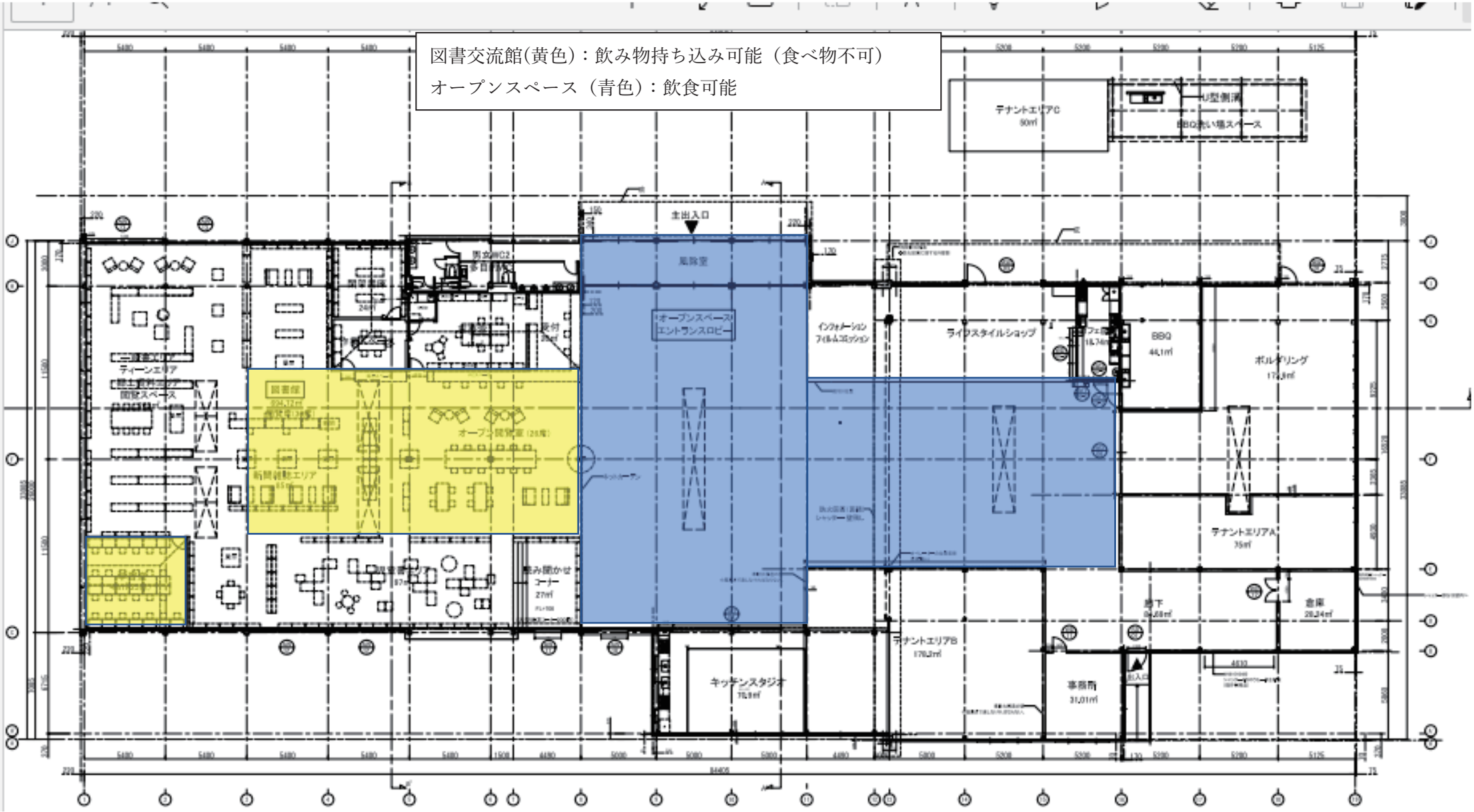


雑誌・新聞コーナー

幅広いジャンルの雑誌を取り揃えています。最新号は館内でお読みください。

図書検索機

タイトルや著者名などから本の検索をすることができます。

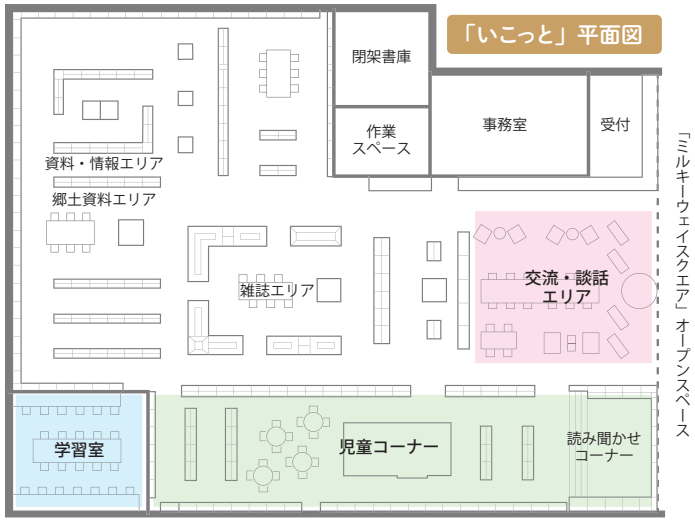

図書交流館(黄色)：飲み物持ち込み可能（食べ物不可）
オープンスペース（青色）：飲食可能
主出入口
風除室
オープンスペース
エントランスロビー
インフォメーション
フィルムコミッション
ライフスタイルショップ
BBQ
44.1㎡
ボルダリング
174.8㎡
ティーンエリア
図書館
オープン閲覧室（28席）
新聞雑誌エリア
飲み聞かせコーナー
27㎡
テナントエリアC
90㎡
U型側溝
BBQ洗い場スペース
テナントエリアA
75㎡
テナントエリアB
178.3㎡
キッチンスタジオ
75.9㎡
事務所
31.01㎡
地下
24.68㎡
倉庫
28.34㎡
84405

いよいよ！

牧之原市立図書交流館 いこっと が開館します

4月17日㈯に、ミルキーウェイスクエア（波津区）内に市立図書交流館「いこっと」が開館します。本だけではなく、交流・談話エリアや学習室、読み聞かせスペースもあり、誰でもたくさん楽しめる場所となっています。開館まであと少し！お楽しみに♪

問い合わせ　社会教育課　森川崇之　☎（53）2646



交流・談話エリア

広々とした空間で、友人や家族など、さまざまな人たちと自由に交流することができる「交流・談話エリア」。
ミルキーウェイスクエアのオープンスペースとつながっているので、開放的な気持ちで、ゆったりと読書やおしゃべりをお楽しみください。

児童コーナー

児童コーナーにはたくさんの絵本があり、わくわくする空間になっています。読み聞かせスペースにはカーペットが敷かれているので、お子さんが直接床に座っても安全！
たくさん本を読んでくださいね♪

学習室

小さなお家のようなデザインの学習室は、館内とは仕切られた静かな空間になっています。
集中して読書や勉強に励みたい人にぴったり。壁際の席にはライトも付いています。ご利用中はお静かに…。

＊開館時には、席の間にパーテーションが設置されます。

定例記者懇談会　資料No.３
令和３年４月６日
産業経済部商工観光課
0548-53-2623

牧之原市内の春季イベント（４月、５月）について

１　勝間田公園つつじまつり　　つつじ見頃４月中

勝間田山の頂上付近には、県の天然記念物に指定されている「ミヤマツツジ（学名：コバノミツバツツジ」が約１万本群生しています。

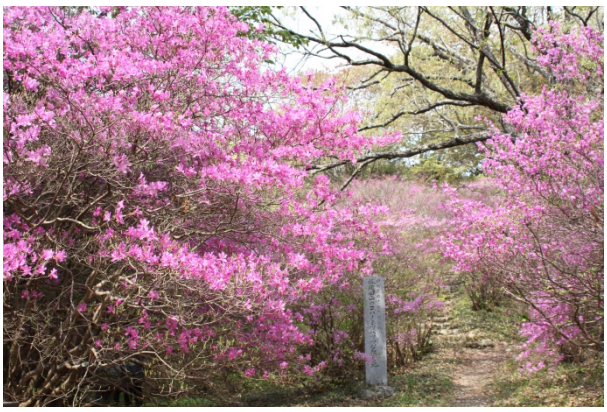
ミヤマツツジは九州から中部地方に分布し、大井川を北限としています。勝間田山は分布の限界に位置し、標高 80 ㍍から 90 ㍍の所に自生し群落をなしています。

日時：４月１１日（日）　神事：午前 10 時 30 分～　※入場無料
会場：勝間田公園山頂
内容：神事の後、つつじ鑑賞と演芸会
　　勝間田小学校５・６年生による「侍ソーラン」や、勝間田絆づくりのメンバーによる踊りの披露があります。
主催：勝間田区　（電話：0548-28-0201）
※雨天の場合は中止です。

２　東光寺長藤まつり　長藤見頃４月中旬～

磐田市「行興寺」の「熊野（ゆや）の長藤」の一枝を東光寺が譲り受け、育てられた長藤です。100 年以上かけ、今では根回りが４メートルある立派な長藤となっています。

日時：４月１８日（日）～４月 30 日(金) ※入場無料
　　午前 10 時～午後６時
会場：東光寺敷地内
内容：長藤まつり期間中は飲食物の販売が行われます。東光寺名物おでんのテイクアウトや藤まんじゅうの販売もあります。
主催：東光寺長藤保存会　（電話：0548-22-6580・期間中）



【勝間田公園つつじ】

【東光寺長藤】

＊新型コロナウイルス感染症の影響により４月 25 日に予定した「さがら草競馬大会」は中止になりました。

報道機関への情報提供資料（牧之原市）　　令和　３年　４月　６日提供

（施策、イベント、行事等の名称） **山崎善道　様　図書寄贈式**	問い合わせ先 牧之原市教育文化部社会教育課 担当：増田茂美 電話：0548-23-7007　（直通）

日　　時	令和３年４月９日（金曜日） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 00 分まで
場　　所	牧之原市立図書交流館「いこっと」（牧之原市波津３丁目 11 番地）
主催者又は担当課	社会教育課

（内容）

山崎善道様　図書寄贈式について

１　贈呈式次第

（１）開式の言葉
（２）出席者紹介（挨拶）
（３）寄贈経緯紹介
（４）寄贈者挨拶
（５）寄贈目録贈呈
（６）市長お礼の言葉
（７）閉式の言葉

２　贈呈式出席予定者

・贈呈者　山崎善道　様(牧之原市福岡在住)
・市　　市長、市担当（教育文化部長、社会教育課長、図書館長）

３　寄贈の概要

山崎様より「地元で何代にもわたり世話になってきた、その想いを形にしたいと考えていたところ、図書交流館の開館を知り 100 万円分の図書を寄贈したい」との申し出があった。

贈呈式では、山崎様より寄贈目録（寄贈図書リスト）を牧之原市長に手渡していただく。

当日は、1 週間後にオープンする図書交流館いこっと内に、寄贈された図書を紹介するコーナーを作りましたので、これをご披露します。

【図書寄贈】

図書交流館いこっとへ　計 100 万円相当　（図書 500 冊）

（添付資料）

・
・

定例記者懇談会
令和３年４月６日
教育文化部社会教育課
0548-53-2646

市史料館企画展「般若寺の寺宝展」の開催について

１　趣旨

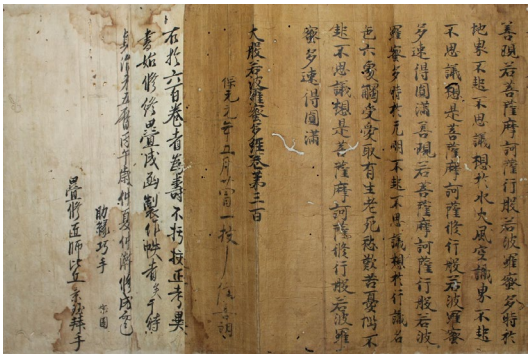
牧之原市大沢にある般若寺は、県の文化財に指定される平安末期の大般若経や田沼家ゆかりの陣太鼓、相良城の杉戸など、数多くの文化財を伝える寺院である。近年、文化財を活用した観光やまちづくりが注目を集めるなか、身近に存在する隠れた歴史資源を紹介することで、“まきのはら”の新しい魅力を発見する機会を提供する。

２　事業概要

名　　称　般若寺の寺宝展
開催期間　令和３年４月６日（火）～令和３年５月30日（日）
会　　場　牧之原市史料館 １階展示室（静岡県牧之原市相良275-2）
開館時間　午前９時00分から午後４時00分まで
入 館 料　大人220円　小人110円（市内小中高生無料）
※ 有効期間（令和２年10月３日～令和３年２月28日まで）が切れているため、相良城御城印による再入館不可。
主　　催　牧之原市教育委員会

３　主な展示品

（1）県指定文化財　紙本墨書大般若経【初公開】
平安末期に書写された県内最古級の大般若経。本展示では、全65巻のうち２巻を特別公開（寺外では初公開）する。



（2）田沼家ゆかりの宝物類
陣太鼓【市指定】、相良城の杉戸【市指定】、猫足火鉢、田沼家の裃など。

（3）般若寺伝来の仏像群
般若寺最古の仏像と推定される阿弥陀如来像（室町時代・初公開）をはじめ、不動明王像や毘沙門天像など般若寺に伝来した仏像群を展示する。

牧之原市史料館 企画展

般若寺の寺宝展

協力：般若寺

初公開　平安末期の写経

紙本墨書大般若経（県指定文化財）

【全65巻のうち2巻を特別公開】

日　　時：令和3年4月6日（火）～5月30日（日）　月曜及び祝日の翌日は休館

午前9時00分～午後4時00分まで

場　　所：牧之原市史料館（静岡県牧之原市相良275－2）

入 館 料：大人220円　　小人110円　　※相良城御城印による再入館はできません。

問 合 せ：牧之原市史料館　（TEL　0548－53－2625）

主　　催：牧之原市教育委員会

報道機関への情報提供資料（牧之原市）　令和３年４月６日提供

（施策、イベント、行事等の名称）

文芸まきのはら第 15 号発売中！

問い合わせ先
牧之原市教育文化部社会教育課
担当：鈴木あゆみ
電話：0548-53 -2625（直通）

日　　時	令和３年３月 26 日（金曜日）～
販売場所	相良庁舎 3Ｆ社会教育課、市史料館、榛原文化センター、布施書店、TUTAYA 相良店、ファミリーマート相良海岸店
主　催　者 又は担当課	牧之原市（社会教育課）牧之原市教育委員会

（内容）

販売価格

１冊　500 円

販売場所

相良庁舎３Ｆ社会教育課、市史料館、榛原文化センター、布施書店、TUTAYA 相良店
ファミリーマート相良海岸店
※榛原図書館、図書交流館にて貸出しもしています。

遠方からのご依頼の場合は郵送での販売も行っておりますので、文化協会事務局までお問い合わせください。

（添付資料）